

手洗器 取扱施工説明書

このたびは、手洗器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工前・使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意」を表します。



必ず実行していただく「強制」を表します。



してはいけない「禁止」を表します。

施工上のご注意

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●施工前に輸送中の破損がないか確認してください。 ●施工される際、手洗器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたくなど)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。 ●本品と合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整のできる器具)を取付けた配管に設置してください。 ●取付後の確認を必ず行ってください。
 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ●手洗器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。 ●手洗器とカウンターのすきま、排水金具の指定位置には必ずシリコンコーキングなどのシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水により家財に損害を与える恐れがあります。 ●排水金具の締付ナットは、手洗器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●手洗器に日光や照明が直接当たる場所には設置しないでください。 ●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置したり、ドライヤーなどの熱風や、火のついたタバコが製品に当たらないようにしてください。 ●ヘアカラー、ヘアマニキュア、養毛剤などの薬液がかかった場合はすぐに洗い流してください。放置すると変色する恐れがあります。

使用上のご注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●手洗器に60℃以上の熱湯や油、シンナーなどの溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水により家財に損害を与える恐れがあります。 ●手洗器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたくなど)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。 ●手洗器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。 ●手洗器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れや水滴を長く放置すると表面に汚れが固着することがあります。本品は樹脂製ですので、ふだんは乾いたやわらかい布(タオルなど)を使って、こまめに水気を拭き取ってください。汚れがひどい時は、研磨剤を含まない中性洗剤を使用し、うすめた洗剤を含ませた布で軽く拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。 ●金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・メラミンスポンジ・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。 ●金属類(ヘアピン、カミソリの刃など)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。 ●スチームクリーナーは、製品が破損する原因となりますので、使用しないでください。

取付方法

1. 排水金具(別売)を取付けます。

* 詳細は器具の説明書を参照してください。

排水上部
パッキン
手洗器
三角パッキン
ワッシャ
締付ナット

三角パッキン
ワッシャ
締付ナット

シール材塗布
(ネジ部1カ所)
* 三角パッキンが
あたるネジ部

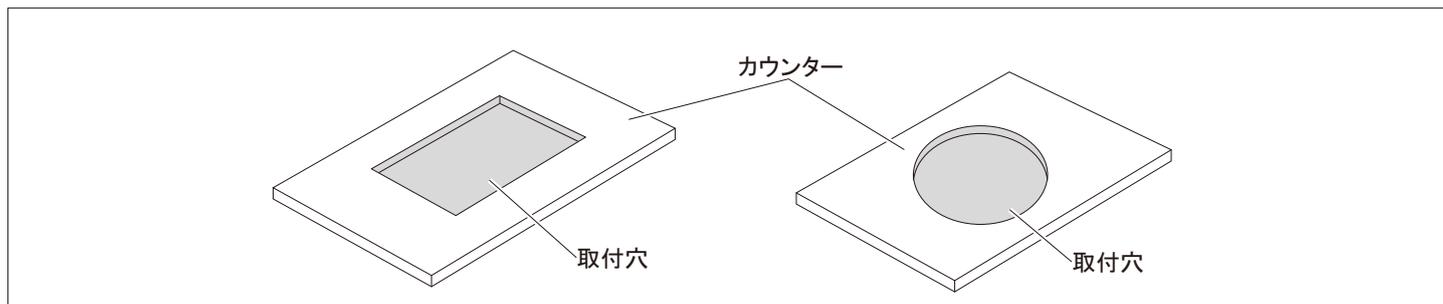
①パッキンがついていることを確認してから、排水上部を手洗器の穴に挿入します。
②手洗器の裏面から三角パッキンがあたるネジ部1カ所にシール材を塗布します。
③手洗器の裏面から三角パッキンを取付け、ワッシャを通して、締付ナットで締付けます。

 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ●排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置に、シリコンコーキングなどのシール材を塗布してください。 ●締付ナットは、手洗器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
----------	--

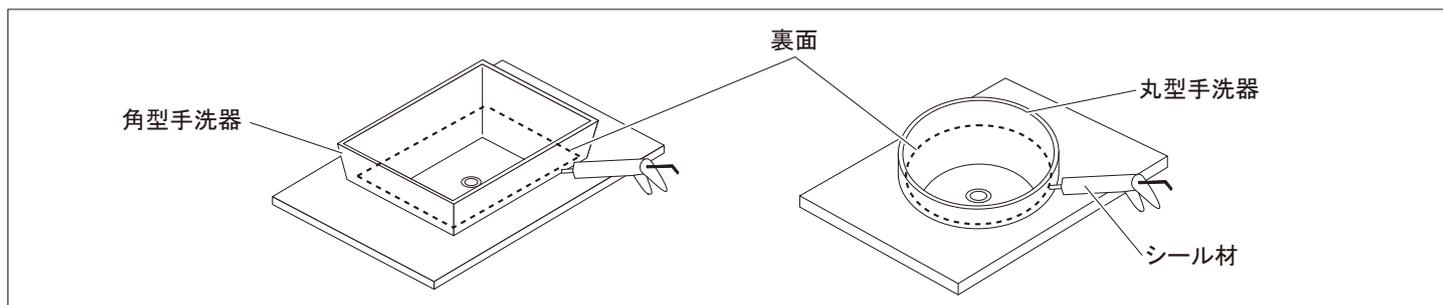
裏面へ続く➡

取付方法(つづき)

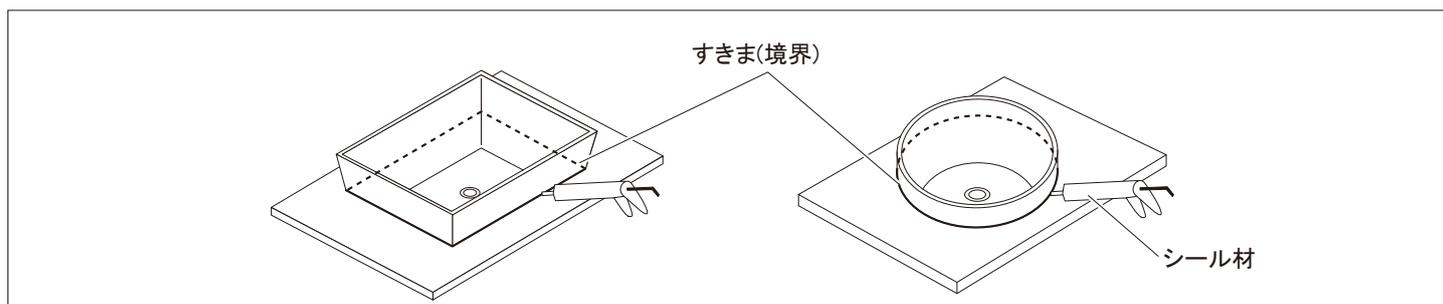
2. 手洗器を取付けます。



- ①手洗器を取付けるカウンターに指定の取付穴を開けます。
* 取付穴は手洗器の仕様図面を参照してください。



- ②手洗器の裏側(カウンターに接する面)にシール材を塗布し、カウンターに設置します。



- ③手洗器とカウンターのすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。 * 詳細は器具の説明書を参照してください。

注意 取付後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態などでその場を離れないでください。漏水により家財などを濡らす恐れがあります。

取付後の確認

- ①手洗器の取付状態の確認
ガタツキがないか確認をします。

- ②水栓の吐水量の確認、及び調整
水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。
* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。

- ③漏水、排水の確認
通水・排水経路の接続各部に漏水がないか確認をします。排水がスムーズに行われるか確認をします。
* 詳細は、各器具の説明書を参考にしてください。

注意 メンテナンスなどで、止水栓を閉め、再び開く場合などには、水栓の吐水量の確認、および調整を必ず行ってください。(取付後の確認 ②)